



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 雅俊
 問合せ先責任者(役職名) 広報IR部長 (氏名) 左柄 正典 (TEL) 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	460,478	4.6	16,300	46.9	17,774	61.4	11,398	92.9
2023年3月期第3四半期	440,302	3.0	11,095	△32.5	11,011	△39.2	5,908	△48.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 17,855百万円(150.5%) 2023年3月期第3四半期 7,127百万円(△38.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	168.76	—
2023年3月期第3四半期	87.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	427,185	229,697	53.0	3,353.27
2023年3月期	410,130	215,899	51.9	3,151.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 226,498百万円 2023年3月期 212,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	616,000	5.4	18,200	39.4	19,500	34.7	12,200	33.6	180.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	70,751,855株	2023年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,206,132株	2023年3月期	3,208,420株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	67,544,830株	2023年3月期3Q	67,540,283株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は2024年2月9日(金)にアナリスト、機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。

この電話会議における四半期決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

(補足説明資料)

2024年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する状況下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しており、今後も続くことが期待されます。先行きについては、世界的な金融引締め等が続く中、ウクライナや中東地域の紛争、金融資本市場の変動、能登半島地震等の影響に十分注意する必要があります。

食品業界においては、外食需要がインバウンド需要の増加等も受けて、回復傾向にあります。一方で、原材料価格高騰の勢いはやわらいだものの、食品をはじめ様々な商品価格の高止まりは継続し、消費者の購買行動に影響を与えております。

このような環境下、当社グループは「新たな成長のタネづくり」、「基盤活用による物量の拡大」、「国内酪農生産基盤の強化・支援」に向けた取組みを事業戦略の3つの柱とする「雪印メグミルクグループ 中期経営計画2025」をスタートいたしました。

その初年度となる2023年度は、すべてのバリューチェーンにおける生産性の向上とコスト構造の見直し、および適切な価格形成による「コストアップへの対応」、環境変化に対応した「トップラインの維持・拡大」、ならびにアジアを中心とした海外やECビジネス等の「新たな成長のタネづくりとその取組みのスタート」を重要取組事項と位置付け、積極的な取組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は460,478百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は16,300百万円(前年同期比46.9%増)、経常利益は17,774百万円(前年同期比61.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,398百万円(前年同期比92.9%増)となりました。

乳製品セグメント、飲料・デザート類セグメントともに適切な価格改定により売上高は前年を上回りました。また、昨年来実施している価格改定が浸透したことに加え、マーケティング活動の強化等により、増益となりました。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能的食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は194,843百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は7,966百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

(売上高の状況)

バターは、価格改定を実施しつつ、市場を上回る需要を獲得できたことにより、前年を上回りました。

油脂は、市場の伸長に加え、販売拡大に積極的に取り組んだことから前年を上回りました。

チーズは、主力の「さけるチーズ」で大樹工場の新ライン稼働による増産体制の整備や、新フレーバーのコンソメ味の発売等があり、好調に推移しました。また、WEBプロモーションをはじめとしたマーケティング活動の強化等により、チーズ全体で前年を上回りました。

機能的食品は、新型コロナウイルス感染症の制約緩和による人流回復のため、定期購入型通販ビジネスの伸び率が落ち着いたものの、モール型ECサイトでの積極的なマーケティング活動等により堅調に推移しました。粉ミルク等は、価格改定の影響もあり前年並みでしたが、ニュートリション事業全体では堅調に推移しました。

(営業利益の状況)

各種コストアップに対応した価格改定等を進めたものの、固定経費の負担増等により前年を下回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。売上高は196,339百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は5,520百万円(前年同期比356.1%増)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、機能性表示食品の「MBPドリンク」シリーズ、大容量タイプの「毎日骨太MBP」、「すっきりCa鉄」等が好調に推移しました。その結果、飲料全体では前年を上回りました。

ヨーグルトは、「牧場の朝ヨーグルト」や「ナチュラル恵megumi」等のファミリーユース商品が好調に推移し、その結果ヨーグルト全体では前年を上回りました。一方で新商品「毎日骨太たんぱくヨーグルトMBP」や「恵megumiガセリ菌SP株ヨーグルトPROTEIN」の発売があったものの、市場において機能性ヨーグルトの需要が落ち着いたため、「ガセリ菌ヨーグルト」シリーズは前年をやや下回りました。

デザートは、主力の「CREAM SWEETS」シリーズや、「アジア茶房」シリーズ等が好調に推移し、前年を上回りました。

(営業利益の状況)

各種コストアップに対応した価格改定により、増益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は39,353百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は485百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料の販売単価の下落や、乳牛用の飼料需要の減少等で販売物量が減少したこと等から、当セグメント全体で前年を下回りました。

(営業利益の状況)

売上は減少したものの、コストダウンの取組み等により増益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は29,941百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は2,248百万円(前年同期比60.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2023年 3月期末	2024年 3月期 第3四半期	増減金額	主な増減理由
資 産	410,130	427,185	17,054	受取手形、売掛金及び契約資産+12,176 投資有価証券+8,983 原材料及び貯蔵品+1,727 現金及び預金△4,861 商品及び製品△2,168
負 債	194,230	197,487	3,256	支払手形及び買掛金+5,226 短期借入金△3,658
純資産	215,899	229,697	13,798	利益剰余金+7,337 その他有価証券評価差額金+5,897

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2023年 3月期 第3四半期	2024年 3月期 第3四半期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	10,161	20,532	10,370	税金等調整前四半期純利益+7,846 売上債権の増減額+6,808 仕入債務の増減額△5,462
投資活動による キャッシュ・フロー	△13,186	△15,258	△2,071	有形及び無形固定資産の取得による支出△ 2,252 投資有価証券の売却による収入△959 投資有価証券の取得による支出+1,090
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,336	△10,289	△7,953	長期借入金の返済による支出△5,024 社債の発行による収入△4,971 短期借入金の純増減額+2,568
現金及び現金同等物の 四半期末残高	15,211	15,476	264	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月24日に公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,351	15,489
受取手形、売掛金及び契約資産	80,257	92,433
商品及び製品	40,900	38,732
仕掛品	899	1,067
原材料及び貯蔵品	16,013	17,740
その他	6,080	6,225
貸倒引当金	△339	△354
流動資産合計	164,163	171,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,964	61,940
機械装置及び運搬具（純額）	58,398	58,138
土地	48,785	48,812
その他（純額）	11,953	11,163
有形固定資産合計	180,101	180,054
無形固定資産		
のれん	516	466
その他	2,671	3,577
無形固定資産合計	3,188	4,043
投資その他の資産		
投資有価証券	50,442	59,426
繰延税金資産	3,112	2,852
その他	9,287	9,640
貸倒引当金	△166	△166
投資その他の資産合計	62,676	71,753
固定資産合計	245,966	255,851
資産合計	410,130	427,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,749	63,975
電子記録債務	5,549	3,991
短期借入金	17,830	14,172
未払法人税等	1,756	3,221
賞与引当金	4,894	2,787
その他	28,124	31,247
流動負債合計	116,904	119,395
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	32,178	30,224
繰延税金負債	7,317	10,059
再評価に係る繰延税金負債	3,815	3,815
役員退職慰労引当金	6	6
退職給付に係る負債	8,702	8,954
資産除去債務	1,207	1,220
その他	9,097	8,811
固定負債合計	77,325	78,091
負債合計	194,230	197,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,027	17,027
利益剰余金	151,908	159,245
自己株式	△5,327	△5,320
株主資本合計	183,609	190,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,924	25,821
繰延ヘッジ損益	23	△4
土地再評価差額金	8,571	8,571
為替換算調整勘定	675	1,082
退職給付に係る調整累計額	76	74
その他の包括利益累計額合計	29,270	35,545
非支配株主持分	3,020	3,198
純資産合計	215,899	229,697
負債純資産合計	410,130	427,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	440,302	460,478
売上原価	373,285	385,163
売上総利益	67,017	75,314
販売費及び一般管理費	55,922	59,013
営業利益	11,095	16,300
営業外収益		
受取利息	3	20
受取配当金	925	1,064
持分法による投資利益	-	480
その他	663	778
営業外収益合計	1,591	2,344
営業外費用		
支払利息	256	268
持分法による投資損失	994	-
ギフト券廃止関連損益	-	132
その他	424	470
営業外費用合計	1,675	871
経常利益	11,011	17,774
特別利益		
固定資産売却益	1	23
投資有価証券売却益	938	91
その他	42	0
特別利益合計	982	115
特別損失		
固定資産売却損	0	10
固定資産除却損	741	834
減損損失	86	233
火災損失	2,239	-
その他	36	74
特別損失合計	3,104	1,153
税金等調整前四半期純利益	8,889	16,736
法人税等	2,864	5,208
四半期純利益	6,024	11,527
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,908	11,398

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,024	11,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320	5,898
繰延ヘッジ損益	△65	△27
為替換算調整勘定	736	461
退職給付に係る調整額	117	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△19
その他の包括利益合計	1,103	6,327
四半期包括利益	7,127	17,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,937	17,673
非支配株主に係る四半期包括利益	190	181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,889	16,736
減価償却費	12,880	13,173
減損損失	86	233
持分法による投資損益(△は益)	994	△480
のれん償却額	82	84
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,274	△2,108
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△618	△341
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	348	248
固定資産除売却損益(△は益)	739	822
受取利息及び受取配当金	△928	△1,085
支払利息	256	268
未収入金の増減額(△は増加)	336	397
売上債権の増減額(△は増加)	△18,815	△12,007
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,461	482
仕入債務の増減額(△は減少)	9,031	3,569
その他	35	2,624
小計	13,531	22,631
利息及び配当金の受取額	986	1,136
利息の支払額	△255	△287
法人税等の支払額	△4,100	△2,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,161	20,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△4	△56
貸付金の回収による収入	5	61
有形及び無形固定資産の取得による支出	△13,193	△15,446
有形及び無形固定資産の売却による収入	25	25
投資有価証券の取得による支出	△1,262	△171
投資有価証券の売却による収入	1,160	200
その他	82	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,186	△15,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,623	△54
長期借入金の返済による支出	△533	△5,558
社債の発行による収入	4,971	-
自己株式の取得による支出	△2	△5
配当金の支払額	△4,055	△4,055
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△89	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,336	△10,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	265	152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,095	△4,862
現金及び現金同等物の期首残高	19,979	20,338
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	326	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,211	15,476

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	187,444	183,536	41,082	412,063	28,239	440,302	—	440,302
外部顧客への売上高	187,444	183,536	41,082	412,063	28,239	440,302	—	440,302
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,911	82	1,027	12,021	10,122	22,143	△22,143	—
計	198,356	183,618	42,110	424,085	38,361	462,446	△22,143	440,302
セグメント利益	8,111	1,210	363	9,685	1,401	11,086	8	11,095

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	194,843	196,339	39,353	430,537	29,941	460,478	—	460,478
外部顧客への売上高	194,843	196,339	39,353	430,537	29,941	460,478	—	460,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,554	68	994	11,617	9,615	21,233	△21,233	—
計	205,398	196,407	40,348	442,154	39,556	481,711	△21,233	460,478
セグメント利益	7,966	5,520	485	13,971	2,248	16,220	80	16,300

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額80百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。